

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

【校訓】	【行動の基盤『3つのモットー』】	
「報恩」	→「先手必勝の挨拶」	＝相手を尊重し、自分から挨拶できる生徒
「誠実」	→「心を磨く清掃」	＝清掃を通して自分と向き合い心を磨く生徒
「探究」	→「一点突破で自分を生かす」	＝自分だけの持ち味・長所を伸ばす生徒

【目指す生徒像】 「心豊かにたくましく生きる生徒の育成」(3年目)

「心豊かに」・・・自他の命と心を尊重し合う豊かな心

「たくましく」・・・どのような状況でも前向きに生き抜くたくましさ

(2) 経営方針と本年度の重点努力目標

ア 主体的で対話的な深い学びを実現し、探究心をもち自ら学び続ける生徒の育成

- ・話し合いや意見交換の時間を取り入れ、より深く考える態度を育むよう授業改善を図る。
- ・タブレットをはじめとする ICT を活用し、個別学習で基礎的な知識と情報活用能力を培うとともに他者との意見交流により思考力を育む。
- ・総合的な学習の時間を SDG s の視点で捉え直し、地域や防災などの課題に自分事として取り組ませる。

イ 活躍の機会を設け、自ら考え、自ら発信し、自ら実践することができる生徒の育成

- ・生徒会活動において生徒の発想を引き出す集会や行事を設け、自己肯定感を向上させる。
- ・「八開 meet タイム (はちミツタイム)」を一層充実させ、身に付けた力を道徳や各教科の話し合い活動で活かす。
- ・年3回のボランティア活動への積極的な参加を促し、「社会は自分に何をしてくれるか」ではなく、「社会に対して自分は何ができるか」を体感できる機会を設ける。

ウ 多様性を尊重し、自身を大切にするとともに他者を大切にする生徒の育成

- ・道徳、特別活動や行事を通して、多様性を尊重する心を養う。
- ・自他の命を尊重する心を育む保健行事や絆を育む学級活動の充実を図る。
- ・生活アンケートを充実させ、いじめの早期発見、早期解決に努める。

エ 家庭・地域・小中の連携による信頼される学校づくり

- ・地域の歴史や偉人について学ばせるとともに、地域人材を活用したり、地域への貢献活動を継続したりすることで、地域への愛情と誇りを育む。
- ・学年通信、毎日の HP 更新等により学校教育活動の様子を発信する。
- ・八輪小、開治小と連携し、中1ギャップの解消や地域全体での教育力の底上げをする。

オ 教育効果を保持しつつ適正な労働時間が維持できる職場環境づくり

- ・月1回以上の定時退校日や学期1回の計画年休を設け、在校時間記録により適正な時間管理に努める。
- ・各種会議を時程内で行うとともに、資料のデジタル化により準備および会議時間の短縮を図る。
- ・教職員の勤務時間を考慮した活動時間を設定し、効率的な部活動指導に努める。